

# nouvelle Fontaine

発行日 2018年7月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10  
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email:fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

## 筑前琵琶の魅力

筑前琵琶奏者  
重要無形文化財保持者(人間国宝)きよくすい  
奥村 旭翠

琵琶といえば多くの方々が先ず思い浮かべるのは「耳なし芳一」の話だと思えます。「芳一」は平家の墓の前で壇ノ浦での平家の最期を物悲しく語ります。平家の怨霊は皆涙して物語を聞いたという話があります。

そうです！琵琶、特に筑前琵琶は平家物語を語り継いできた芸能です。九州各地で活動していた盲僧琵琶の統領の一人であった一世「橘旭翁」<sup>たちばなきよくおう</sup>が『筑前琵琶』と称したのが筑前琵琶の始まりといわれています。

筑前琵琶には平家物語の外に多くの演目があります。建武中興の話から戦国時代、そして近代では西郷隆盛等々……歴史上有名な語りが数多くあるので歴史物語といわれる由縁なのでしょう。

昨今は「歴女」と呼ばれる歴史に詳しい方や、テレビでも歴史の番組が数多く放送され又新しい証拠や新説が紹介され、歴史ファンでなくても大変興味を持っておられます。演奏を聞かれた方に「こういう説ではないでしょうか？」と教えて頂く事もあります。しかし琵琶は歴史の物語ではありますが史実ではありません。ただ作り話ではありますが真実を伝えていると思うのです。それは人としての心

情を物語を通じて喜びや悲しみ、そしてその時代の人の誇り高い生き様を、語りや音楽によって聞く人の心に熱く語りかけています。芸術とか高尚なものと思わないで下さい。何よりもおもしろく、人の心を打つ『大衆芸能』です。

私は『重要無形文化財保持者』という大仕事をいただき、一番の使命はこの琵琶の魅力を少しでも多くの方々に知って頂く事と思っています。今度岸和田で演奏会を開く事が出来、数多くの岸和田の皆様をお誘い出来ればこの上ない喜びと思っています。

### ◆琵琶の響き ～平家物語の世界～

日 時：平成30年9月29日(土)  
午後2時開演(30分前開場)

会 場：杉江能楽堂

出 演：奥村 旭翠とその一門

友情出演：旭堂 南陵

入場料：前売2,500円(当日500円増)

定 員：120名(自由席)

問い合わせ：

岸和田文化事業協会 ☎072-437-3801

## 岸和田文化事業協会

平成30年度

## 定時総会を開催



5月26日（土）午後2時から平成30年度の定時総会を開催しました。

ご来賓に永野耕平岸和田市長、高田昌<sup>ただし</sup>大阪文化団体連合会事務局長、大西吉之助<sup>いきつか</sup>魅力創造部長、生塚洋介浪切ホール館長をお迎えし、出席会員30人、委任状提出は125人で行われました。

先ず、市長より「文化面で、また自泉会館の指定管理では文化事業協会に大変お世話になっている。この街は、経済的なゆとりと伝統的な深みのある街になってゆかねばならないと思う。『文化 花咲かそう推進プラン』の実現に力をいただきたい。」との祝辞をいただきました。

続いて、大文連運営委員長から「文化事業協会は、去年は会計的に大変だとお聞きしましたが、力強い皆さんのご様子に安心しました。今後益々活躍していただきますよう願っています。」との激励の祝辞をいただきました。

次に議事に移り、赤井よし子さんが議長に選出され、平成29年度事業報告・決算報告及び監査報告の3つの案件をまとめて審議、承認されました。

続いて、平成30年度事業計画（案）及び予算（案）の2つの案件をまとめて審議

しこちらも承認されました。

全体を通しての質問・意見として「この事業協会を立ち上げたときは、“行政と市民が＜協働＞して文化を作り上げる”が大きなテーマで、全国的にも評価され“東の水戸、西の岸和田”と評された。近年はこの＜協働＞が見られなくなったと思う。協会がもっと強く行政に働きかける必要がある。岸和田の文化をどうするか責任は行政も大きいと思う。あれこれ制限するのが行政ではなく、“共に何が出来るか”動くのが行政ではないか。『岸和田市市民文化事業協会』の10年が帳消しにされている。市民の文化を行政とどうつなぐか…課題であろう。」とご意見をいただきました。

この貴重なご意見をいただき、定時総会の議論を終了しました。

議事の次に、伊藤伸史前顧問に感謝状の贈呈を予定していましたが、急遽欠席のため会長から感謝状を披露。後日、記念品の額縁・花束とともにお届けすることを報告しました。

総会終了後、ホール後方でお茶をしながら和やかに交流のひと時を過ごしました。



# めざせ！ 岸和田マイスター

## 【城下町編Ⅱ】

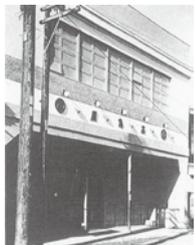
豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ！岸和田マイスター」。今回は「城下町編」です。

**1** 岸和田市役所前にある「こなから坂」は、岸城神社に宮入りするだんじり15台が上がることで有名ですが、「こなから」の意味は次のどれでしょうか？

- ① かなり急な坂
- ② 半分の半分
- ③ 石畳

**2** 紀州街道は明治に入ってから商業も発達し、税務署、警察署、学校、銀行なども立ち並び官庁街として岸和田市発展の基をなしましたが、現在の堺町だんじり小屋横に昭和4年にできた百貨店の名前は次のどれでしょうか？

- ① 三越
- ② そごう
- ③ 高島屋



旧百貨店

**3** 紀州街道には江戸時代に戦略的につくられた門が5ヶ所あり、現在もカギ型の道として当時をしのぶことができます。だんじりの通行ルートでもある堺町と本町のS字カーブもそれにあたります。堺町にあった門は堺口門ですが、本町にあった門は次のどれでしょうか？

- ① 伝馬口門
- ② 内町門
- ③ 外町門

**4** 本町にある毛利医院には今も「返魂丹」という看板が掛かっていますが、それは何を意味する看板でしょうか？

- ① 養生所（＝病院）
- ② 寺子屋
- ③ 薬の名前

**5** 「藩学講習館」は岸和田藩主岡部氏が学びの場として1852年に北町（旧上砂町）創立し、そこには「皇国」「俊英」「法門」「亀鑑(きかん)」の扁額が掲げられていました。「亀鑑」は手本、模範という意味ですが、実際に学ぶことを許されたのはどの人達だったのでしょうか？

- ① 上級藩士の子弟
- ② 藩士の子弟
- ③ 身分に関係なく志のある者

**6** 明治11年に本町に開業した五十一銀行は、全国に153あった国立銀行の一つで、その後、国策により寺田銀行等と合併し阪南銀行となり、昭和20年には住友銀行に合併されました。では現在、寺田銀行の跡地はどこにあたるでしょうか？

- ① 岸和田自然資料館
- ② 岸和田警察署
- ③ 中央小学校



旧寺田銀行

**7** 現在は暗渠化され、兩岸の柳や川面の面影も無くなった古城川周辺ですが、昭和20年ごろまでは、欄干橋を中心に多くの商店や問屋が集まる泉州で最も賑やかなところでした。中でも栄えた、紀州街道と直交する通りは「かじやまち通り」と次のどれでしょうか？

- ① 円満通り
- ② 川端筋（塔原線）
- ③ 昭和大通り



欄干橋周辺

**8** 大正11年に大阪府下で3番目の早さ（大阪市、堺市に次ぐ）で岸和田市市制が施行されましたが、その前身となった「岸和田町」を構成した地域で正しいものはどれでしょうか？

- ① 岸和田浜町・岸和田町・岸和田村・土生郷村
- ② 岸和田浜町・岸和田町・沼野村・北掃守村
- ③ 岸和田町・岸和田村・沼野村・土生郷村
- ④ 岸和田浜町・岸和田町・岸和田村・沼野村

**9** 嘉永六年（1853）、吉田松陰が当時の藩学講習館館長である相馬九方を訪れ、十日間の滞在の間に他の藩士とも会い、火鉢にあたり番茶をすすり、煎餅をかじりつつ、日本の将来について夜を徹して語り明かしたとされる、紀州街道に面する当時の宿所「塩平」は現在の何家にあたるでしょうか？

- ① 山岡家
- ② 中家
- ③ 久住家

**10** 町曲輪（本町・中町）と外曲輪（堺町）の北西縁に作られ、沿岸防衛や防潮堤の役割を果たしていた遺構で、現在では中町児童公園のそばに少しだけ残る、当時の海岸線や岸和田城の外郭の規模を示す貴重な資料となっているものは次のどれでしょうか？

- ① 石垣
- ② 煉瓦（岸和田煉瓦）
- ③ 土堀

※解答は、7面に掲載しています。

# 事業協会 秋の研修旅行 篠山市に学ぶ



私たちの町のシンボル岸和田城が築かれたのは15世紀初め。その後、幾多の城主を迎え、明治の廃藩置県を迎えました。江戸時代の初めには徳川家康の落胤<sup>らくいん</sup>ではともいわれる松平家重が丹波国篠山から移封されています。岸和田と丹波篠山（現篠山市）は、かつて浅からぬご縁があったようです。

同じ城下町としてスタートしたふたつの町。篠山市は観光まちづくり戦略を展開し、リピーターを増やすことに成功しています。

ここから学ぶことはないだろうか。それを知りたいと、篠山市を訪ねる旅を計画しました。下見に行ってきた報告です。

秋の1日、篠山の歴史と岸和田の未来を考える旅に出かけませんか。

## 篠山市を訪ねて

篠山城は西国の大名を抑えるため徳川家康が建てさせた城である。今は山々に囲まれた静かな田舎町だが、昔は交通の要所であったらしい。静かなこの町に注目したのは、近頃色々なところで篠山観光という文字を目にするようになったからだ。そこには何が有るのだろう。不思議を紐解いてみたいと、7月に入ったばかりの暑い日、篠山市に向かった。

岸和田から電車で2時間。篠山口の駅前には、整備されてはいるがこれといった観光スポットはない。事前に訪問を伝えていた篠山市役所観光課を訪ねる前に、篠山城址に登ってみた。広い外堀と石垣、天守台、青山神社が残り、大書院が観光スポットになっている。天守閣は無いが岸和田城よりも面積は広そうで、緑があふれるのどかな雰囲気である。でも果たして観光客はこれが見たいのだろうか？と首をかしげたくなった。

その後、昔は町役場だった大正ロマン館で昼食を取った。そして、そこに並ぶ土産物の多さに驚いた。

黒豆とそば、栗が有名だがそれを色々と工夫し、様々なお土産物としている。岸和田の観光センターには、これほどの土産物は並んでいないと思った。

観光課を訪問し、篠山市をどのようにして広報してきたのかと質問した。するとJTBに勤務していた営業マンを採用し、全国を回って篠山市をPRしてもらったとのこと。そのPR材料は、篠山の原風景と農業であったという。田舎ならではのものが受け入れられたのだ。鉄道という便利な手段を取って町に入れず、今の観光の町を作ったと伺った。

他には、篠山に移住者を募り古い家をそのまま使用し、町のコミュニティーに入ることで篠山の農業や文化の担い手になってもらう。若者の移住者が増加することで、新しい文化も生まれてくるそうだ。

田舎町にある現風景を観光の中心とし作物等で観光客を呼び込むならば、岸和田のように都会に近い町にもその特徴である風景や産物や文化が有るのではないかと考えた。そしてそれをあぶり出し探求していくのが、我々事業協会の仕事ではないかと考えた。

11月にもう一度篠山に行って、さらに深くこの町の文化と歴史を見てこようと思っている。

(齊藤 憲子)

秋の研修旅行  
11月23日(金・祝)  
篠山市見学を予定

※9月ぐらいに募集案内をいたします。

### 「おり紙deコミュニケーション」

講師 柏原 康子さんにうかがいました！

折り紙との出会いがいつだったか？幼稚園に通う頃には《伝承のおりがみ》と紹介されている鶴・やっこ・紙風船・兜などは一人で作っていました。父や伯母たちに習ったり、家に折り紙の本もありましたから。小学生になると手芸・プラモデル・お菓子作りなど、下手の横好き器用貧乏。折り紙を折る機会は減りました。

折り紙を再開したきっかけは息子。幼稚園で初めて折り紙と遭遇した彼はとても丁寧で、みんなとペースが合わず担任の先生から「夏休みに練習してね」と宿題を出され親子で書店へ。「せっかく本買うたし全部作る」と折り紙三昧。夏休み明けには私だけが夢中になり《創作おり紙》の本も増えました。一枚の紙が様々な形に変化する折り紙は奥が深くて不思議で楽しいです。

数年後、子育てサークルで事務員をしていた時に、親子で参加型の【折り紙教室&手作りおやつ】をさせて頂きました。そこで新たな出会いが訪れました。当時、大宮青少年会館館長をされていた長谷川秀美さんです。大人と子ども別々の講座はあるけれど、一緒に受講できる新設予定の【折り紙教室】の講師を探しておられた様子。事務所の折り紙が目にとま



り「初心者でも楽しめる折り紙の講師を」と依頼されたのです。最初は「素人のおばちゃんには無理です」と逃げ腰でしたが、館長さんの人柄に惹かれて引き受けることになりました。

講座生よりも講師の私が緊張しながら初日を迎えた【おり紙deコミュニケーション】も、早くも7年目の春を迎えました。毎月第3土曜の午前中2時間を小学生～大人まで幅広い年齢の皆さんと過ごしています。帰宅した途端に放置では勿体ないので、使えたり、飾れる物を作る様にしています。「作るの好き」「何か始めさせたい」「保育や介護の仕事に」など参加理由も様々。右脳を刺激し手先を使う事でボケ防止に役立つという方も中にはおられます。学校で子ども達は何事にも早さを求められています。受験でも社会人になっても正確かつ迅速に仕事をこなす力は必要ですものね。中には早く出来る事が大切な勢いで折り紙をする子や、子どもを急かす保護者の方を見受けますが、講座では「折り紙は趣味の域で勉強と違うから急がず丁寧に楽しもうね」と話しています。難しい時に大人こども関係なく、お互い教えあっている姿はとても微笑ましくて嬉しくなります。

たかが折り紙、されど折り紙。皆さんも一度楽しい折り紙ワールドを体験してみたいはいかがでしょうか。





Ichigo-Ichien

## 【地唄舞】

山村<sup>わかよりき</sup> 若代紀

全く舞踊経験の無い中で、中年にさしかかって突然、大阪ならではの舞踊がしたいと見つけたのが地唄舞でした。

地唄舞は主に京阪神で発達した、大雑把に言うとも歌舞伎舞踊と能の仕舞の中間の舞踊です。笛と太鼓と地謡というバックコーラスの舞踊劇の能。鳴り物と唄に南蛮船で入ってきた三味線を加えてより大きなホールで演る舞踊劇の歌舞伎。地唄舞は1~3人の三味線や琴などの伴奏で住居空間である御座敷で舞う、両者の舞踊部分を折衷し、女性が家の中で静かに舞いやすいように作られたもので、多い時には大阪中心部では三軒隣は山村と言われた程、女子の習い事として流行っていたそうです。江戸時代大坂は、以前の朝の連続ドラマあさが来たのように、全国の大名の年貢米が集まる米相場の町でした。能を嗜む武士と、歌舞伎を観て三味線を嗜む商人。両者が共に御座敷で楽しむ地唄舞。能や歌舞伎の人気曲を御座敷舞にした名曲もたくさん残っています。

地唄舞を習い始めて、歌舞伎や能に興味を持ち、そのストーリーや時代背景を調べたり、今迄できなかった動きができるようになってきたり、課題曲毎に知らなかった世界が広がっていくのがとにかく楽しいです。

岸和田出身の歌舞伎役者さんがいらしたり、杉江能楽堂で有名な能楽師さんが演能されたり、今まで知らなかったけど、岸和田が意外と凄い事になっているというのも、地歌舞に出逢って知りました。



## 【学ぶこと】

吉岡 昌美 (声楽家)



40歳になる頃、以前から気になっていた「書写教室」に通い始めました。自分の書く文字があまり好きではなく、もっと美しい文字をかけるようになりたいと思ったからです。

先生は、初めに書いた私の癖のある字を見て「下手なのではありませんよ。」「どのよう

に書くと良いのか、まだ知らないだけです。」と励まして下さいました。それから、丁寧なご指導をいただき、徐々に文字をまっすぐ書けるようになりました。こんなに字を書くのが楽しいとは、今さらながら喜んでいきます。

そして、もう一つの喜びは、書を習う中で、私の専

門である歌との共通点をたくさん感じられることです。書き始めるときに文字のどこまでを意識しているか。歌い始める時にフレーズのどこまでを感じているか。身体を中心を意識して歌う、書く。空間の感じ方もどちらにも大切です。さらに自分でも一番驚いたのは、ある日、清書する紙を前に置いた時のことでした。さあ書こうと筆を持ったその時、なんと、演奏会でステージに出る直前の独特の感覚が湧き上がってきたのです。何とも言えない緊張感、喜び、幸せ、集中。その時、歌も書道ももっと勉強したいと思いました。

歌や書には良くも悪くも「私らしさ」が出ています。癖もその一つです。それで自分という人間を見つめ直すこととなります。自分にはこういうところがあるんだな、これは自分の持ち味だな、など見ていると、普段の考え方や姿勢まで変わって来たりします。これも二つを同時に学ぶ喜びです。技術を学ぶだけでなく、それらを通して人としての成長を続けられたらと思います。

# Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。  
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

## 第53回 自泉フレッシュコンサート

平成30年4月27日(金) 午後6時30分開演

入場者数 60名



### 〈皆さんの声〉

- ◆音楽を目指す若い方が、"自泉から世界へ、世界から自泉へ"と帰ってきてくれたらうれしいです。頑張ってください。
- ◆同世代の人の音楽を聴くのはやはり刺激になると思いました。演奏も良かったし、ホールの響きも良かったです。アットホームな感じも良かったです。
- ◆フレッシュで自分も若返ったようです。とても良かったです。
- ◆感動の一言でした。素晴らしい演奏と声楽、聴いていてたくさん力を頂きました。

## 第54回 自泉フレッシュコンサート

平成30年6月30日(土) 午後6時30分開演

入場者数 48名



### 〈皆さんの声〉

- ◆歴史ある建物でのピアノコンサートは良かった。他の楽器も混ぜてほしい。
- ◆演奏者の2人がそれぞれにテーマのある曲を選ばれ、覇気のみならず演奏をされました。各曲の良さが胸にしみました。
- ◆ホンワカとした前半と、ダイナミックな後半とで良かったです。

## 古地図展

6月20日(水)～24日(日) 午前10時～午後5時

入場者数 230名



### 〈皆さんの声〉

- ◆江戸時代の旅行地図が高速のインターチェンジでもらうのより詳しく面白かった。
- ◆岸和田以外の地図も数多く展示され、行先生の解説付きで大満足です。今後の開催にも期待します。
- ◆もう少し会期を長く展示してください。
- ◆普段見ることのない古地図を拝見いたしました。興味深い物ばかりでした。

## 古地図展 講座

6月23日(土) 午後1時30分～午後3時

入場者数 40名

### 〈皆さんの声〉

- ◆盛りだくさんの内容だったので、数回の講座でもっと教えていただきたいです。
- ◆何度聞いても聞きたいお話です。続編をぜひお願いします。

### 岸和田文化事業協会より同趣旨をお持ちの団体の方々へ

岸和田文化事業協会では、市民が自主的に創造的な文化芸術活動を支援し、育て、地域文化の振興に寄与することを目的として活動しています。

同じような趣旨をお持ちの団体の皆さんと、膝を交えて忌憚ない意見交換をしていきたいと思っています。

団体と団体を結ぶ役割を担うことも当協会の目的の一つと考え、皆様と話し合っている場を今後持ちたいと考えています。

ご協力よろしくお願ひいたします。

### お願い

岸和田文化事業協会でも取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務局まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

### 【3面「めざせ!岸和田マイスター」の解答】

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. ②半分の半分        | 6. ①岸和田自然資料館            |
| 2. ③高島屋          | 7. ①円満通り                |
| 3. ②内町門          | 8. ④岸和田浜町・岸和田町・岸和田村・沼野村 |
| 4. ③薬の名前         | 9. ③久住家                 |
| 5. ③身分に関係なく志のある者 | 10. ①石垣                 |

### 2018年8月～2019年1月 今後の事業予定

※予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください

8月11日(土・祝)	中村友希乃ヴァイオリンリサイタル	11月23日(金・祝)	研修旅行(篠山町見学)
8月17日(金)	第5回自泉Re.フレッシュコンサート	12月15日(土)	第56回自泉フレッシュコンサート
9月29日(土)	琵琶の響き ～平家物語の世界～	12月15日～16日	【仮】自泉クリスマス会(展示・ワークショップ)
10月13日(土)	ファミリーで楽しむ茂山狂言会in杉江能楽堂	12月16日(日)	【仮】第2回自泉クリスマス会(コンサート)
10月26日(金)	第55回自泉フレッシュコンサート	平成31年 1月27日(日)	子どもたちによるオペレッタ『ヘンゼルとグレーテル』

【訂正】59号3面掲載の「めざせ!岸和田マイスター」の問題7の答えが間違えています。正しくは、「堺口門」です。お詫び申し上げます。

## 中村友希乃ヴァイオリンリサイタル

日 時:平成30年8月11日(土・祝)  
午後5時開演(30分前開場)  
会 場:岸和田市立自泉会館ホール  
出演者:中村 友希乃(ヴァイオリン)  
横山 瑠 佳(ピアノ伴奏)  
入場料:前売2,000円(当日500円増)

## 琵琶の響き ~平家物語の世界~

日 時:平成30年9月29日(土)  
午後2時開演(30分前開場)  
会 場:杉江能楽堂  
出演者:奥村 旭翠(人間国宝)とその一門  
友情出演:旭堂 南陵  
入場料:前売2,500円(当日500円増)

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで  
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

## 第5回自泉Re.フレッシュコンサート

日 時:平成30年8月17日(金)  
午後6時30分開演(30分前開場)  
会 場:岸和田市立自泉会館ホール  
出演者:宮竹 博文(バリトン)  
菊地 玲子(ソプラノ)  
山崎 啓子(ソプラノ)  
山名美枝子(ソプラノ)  
杉本 友紀(ピアノ)  
入場料:一般前売1,200円(当日200円増)  
会員前売1,000円(当日200円増)

## ファミリーで楽しむ茂山狂言会 in杉江能楽堂

日 時:平成30年10月13日(土)  
午後2時開演(30分前開場)  
会 場:杉江能楽堂  
出演者:茂山 逸平・丸石やすし・  
松本 薫・増田 浩紀・山下 守之  
入場料:中学生以下前売 1,500円  
会員前売 2,000円 一般前売 2,500円  
(当日各500円増)

## 文化情報

### 2018子どもえんげきさいinきしわだ

日 時:平成30年8月22日(水)~26日(日)  
会 場:岸和田市立浪切ホール各会場  
入場料:プロ作品 前売1,000円(当日500円増)  
アマチュア作品・あそびのひろばは無料  
主 催:子ども演劇祭in岸和田実行委員会  
問合せ:TEL 072-437-3456  
※詳しくは<http://www.sozosha-net.jp/kishiwada-fes/>

平成30年度(平成30年4月~平成31年3月)

## 会員募集

年会費	個人会員(1口) 2,000円	団体会員(1口) 5,000円
(入会費不要)	家族会員(1口) 1,000円	法人会員(1口) 10,000円
	(個人会員の同居家族)	特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。  
郵便振込の場合は口座番号 00970-9-28145  
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで  
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

## 第55回自泉フレッシュコンサート

日 時:平成30年10月26日(金)  
午後6時30分開演(30分前開場)  
会 場:岸和田市立自泉会館ホール  
出演者:植木 瑠璃子(ピアノ)  
中道 亜莉沙(ピアノ)  
野地 紗由美・中原 真衣  
(ヴァイオリンデュオ)  
入場料:一般前売1,200円(当日200円増)  
会員前売1,000円(当日200円増)

nouvelle  
**Fontaine**

◆事務局  
〒596-0073  
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内  
TEL/FAX 072-437-3801  
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小島栄子・黒木幸子  
小末元恵・堀野和人

vol.60

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2018年7月25日

編集後記...

今年は相川町の蛍観賞が昨年の災害(台風)のため中止、夏の岸和田の花火大会も行われなそうです。初夏を呼ぶ蛍観賞や夏の風物詩の花火大会を楽しみにしていた方が多くおられたらと思うと残念です。(小島)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

